平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年８月３日

上場会社名　　ぷらっとホーム株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　6836　　ＵＲＬ　http://www.plathome.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）鈴木　友康
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）河南　邦男　　ＴＥＬ　03-5213-4376

四半期報告書提出予定日　　平成24年８月13日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第１四半期の業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	236	10.1	△98	－	△99	－	△103	－
24年３月期第１四半期	214	△32.7	△123	－	△124	－	△125	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	△8,132.10	－
24年３月期第１四半期	△9,895.50	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第１四半期	2,146	1,902	88.6
24年３月期	2,288	2,007	87.7

（参考）自己資本　　25年３月期第１四半期　　1,902百万円　　24年３月期　　2,007百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
25年３月期	－				
25年３月期（予想）		0.00	－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．平成25年３月期の業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	635	28.4	△109	－	△110	－	△122	－	△9,619.93
通期	1,400	24.4	0	－	0	－	0	－	0.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期１Ｑ	13,588株	24年３月期	13,588株
②　期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	906株	24年３月期	906株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期１Ｑ	12,682株	24年３月期１Ｑ	12,682株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．四半期決算補足説明資料は、平成24年８月３日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 6
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間におけるわが国の経済は、厳しい状況が続いているものの、企業の生産及び設備投資は緩やかに持ち直しています。先行きについては、復興需要を背景に回復の動きがありますが、欧州の金融危機の影響による海外景気の後退や為替レートの変動により、国内景気が下押しされるリスクが存在します。

当社の主要な販売品目である国内サーバ市場においては、東日本大震災の影響による大きな落ち込みのあった前年同期に比べ、出荷金額、出荷台数とも増加しました。

このような状況において、当社は、独自性の高い自社製品であるマイクロサーバに継続して経営資源を集中しており、６月にはマイクロサーバの新シリーズを発表し、第２四半期以降の出荷を期しております。この結果、当第１四半期累計期間の売上高は236百万円（前年同期比21百万円・10.1％増加）と前年同期に比べ増加しました。販売費及び一般管理費は、マイクロサーバに係る研究開発費が増加しましたが、前期に実施した本社移転による家賃の減少等により、前年同期に比べ減少しました。この結果、営業損失は98百万円（前年同期は営業損失123百万円）、経常損失は99百万円（前年同期は経常損失124百万円）、四半期純損失は103百万円（前年同期は四半期純損失125百万円）となりました。

品目別の売上高動向につきましては、次のとおりであります。

（自社製品コンピュータ）

マイクロサーバについては、法人及び地方自治体に向けて新たな顧客の開拓を行い、またネットワーク運用に不可欠な各種機能を予め組み込んだアプライアンス製品の販売に努め、当第１四半期累計期間の売上高は前年同期と比べ増加しました。サーバ（ＩＡサーバ）・ストレージの売上高については、既存顧客への継続した出荷があり前年同期と比べ増加しました。この結果、自社製品コンピュータ全体の売上高は前年同期と比べ増加し、売上高は95百万円（前年同期比33百万円・53.7％増加）となりました。

（コンピュータ関連商品）

オンライン販売サイトの売上が伸びず、また法人営業販売が減少し、コンピュータ関連商品全体の売上高は前年同期と比べ減少しました。この結果、売上高は115百万円（前年同期比12百万円・9.7％減少）となりました。

（サービス・その他）

マイクロサーバに係るサポートサービスについては、本体売上の増加により伸長しましたが、サーバ（ＩＡサーバ）・ストレージの延長保守サービスについては、大口の年間保守契約が継続して受注となったものの減少となりました。この結果、サービス・その他全体の売上高は前年同期と比べ増加し、売上高は26百万円（前年同期比0百万円・3.3％増加）となりました。

なお、上記の各品目に含まれるマイクロサーバに関連する売上高（本体、サポートサービス、オプション品など）は64百万円（前年同期比19百万円・45.4％増加）であります。（前年同期比の数値は参考値として記載しております。）

（２）財政状態に関する定性的情報

当第１四半期会計期間末の資産については、現金及び預金の減少129百万円、売掛金の減少81百万円等により、前事業年度末に比べ141百万円減少し、2,146百万円となりました。

負債については、買掛金の減少40百万円等により、前事業年度末に比べ36百万円減少し、244百万円となりました。

純資産については、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少103百万円等により、前事業年度末に比べ104百万円減少し、1,902百万円となりました。

（３）業績予想に関する定性的情報

当第１四半期累計期間の業績は概ね予想の範囲に推移しており、平成24年５月11日付当社「平成24年３月期 決算短信（非連結）」において公表いたしました平成25年３月期通期業績予想に変更はありません。

当社は、中期経営方針において、早期の経常黒字化を実現するために、顧客のニーズを徹底的に拾い上げることで製品・サービスに磨きをかけ、今後市場が大きく拡大すると見込まれるマイクロサーバ市場におけるナンバーワン企業を目指します。当第１四半期に発表した、従来より大幅に処理能力を高めたマイクロサーバの新シリーズを、第２四半期以降に出荷し、従来機種では対応できなかった用途への拡販を行うとともに、アプライアンス製品のラインナップの拡充を図ってまいります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,771,328	1,641,662
売掛金	174,593	93,473
商品及び製品	17,347	14,904
原材料	47,131	69,381
その他	125,575	180,350
流動資産合計	2,135,976	1,999,772
固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	124,577	109,409
その他	27,747	37,747
投資その他の資産合計	152,325	147,157
固定資産合計	152,325	147,157
資産合計	2,288,301	2,146,930
負債の部		
流動負債		
買掛金	134,965	94,434
未払法人税等	11,858	4,532
賞与引当金	17,482	27,740
製品保証引当金	1,909	1,668
その他	88,014	90,418
流動負債合計	254,230	218,794
固定負債		
退職給付引当金	18,018	16,732
その他	8,500	8,500
固定負債合計	26,518	25,232
負債合計	280,749	244,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,414,700	2,414,700
資本剰余金	5,566,781	5,566,781
利益剰余金	△5,803,523	△5,906,654
自己株式	△158,329	△158,329
株主資本合計	2,019,628	1,916,496
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12,075	△13,593
評価・換算差額等合計	△12,075	△13,593
純資産合計	2,007,552	1,902,903
負債純資産合計	2,288,301	2,146,930

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	214,920	236,652
売上原価	148,783	162,372
売上総利益	66,136	74,280
販売費及び一般管理費	189,843	172,592
営業損失（△）	△123,706	△98,312
営業外収益		
保険配当金	－	222
その他	72	102
営業外収益合計	72	324
営業外費用		
為替差損	275	403
投資事業組合運用損	634	683
営業外費用合計	909	1,087
経常損失（△）	△124,544	△99,074
特別損失		
減損損失	－	3,106
特別損失合計	－	3,106
税引前四半期純損失（△）	△124,544	△102,181
法人税等	950	950
四半期純損失（△）	△125,494	△103,131

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。